上石小だより

思いやりのある

～　やさしさ　　かしこさ　　たくましさ　～

第　６　号
令和５年９月２９日
練馬区立上石神井小学校
校　長

体を動かすことを楽しみながら

校長

今年は９月になっても記録的に暑い日が続き、熱中症の対策を講じながら２学期の教育活動を開始してきたところですが、９月も月末に近付くにつれてようやく少しずつ過ごしやすい日も増えてきました。気候の移り変わりに応じて休み時間に校庭で元気に体を動かして遊ぶ子供も増えてきているようです。

９月の最終週からは、「上小スポーツフェスティバル」に向けた特別時間割が始まり、各学年の練習にも力が入ってきています。第５号の上石小だよりでもお知らせいたしましたとおり、今年度からは「上小スポーツフェスティバル」と名称を改め、保護者の皆様には、子供たちの走りと表現をご覧いただく予定です。

「上小スポーツフェスティバル」は、このフェスティバル当日がゴールではなく、フェスティバルが、体を動かす楽しさを知る一つのきっかけとなることが大事だと考えています。

例えば、各学年の表現では、ふだん体を動かして表現することに慣れていない子供も実際にダンスなどの練習をする中で、体を動かすことの楽しさに触れてほしいと考えています。また、短距離走の練習では、走ることは楽しいと少しでも感じることができればと思っています。

また、今年度は校内研究の教科を体育科として、各学年の研究授業を通して子供たちの体力向上に寄与できるよう研究を進めているところです。この校内研究におきましても、体育の授業をゴールとするのではなく、運動が楽しいと思えるような活動を工夫することをとおして、子供たちが授業以外の様々な場面で生涯を通じて、楽しみながら体を動かしてほしいと願っています。

ご家庭でお子様が上小スポーツフェスティバルの表現や短距離走の練習をしたり、体育の授業の話をしたりした際には、保護者の皆様が、たくさん褒めたり認めたりしてくださることが、子供たちが今後も体を動かす意欲につながると思います。ご家庭でもご協力いただければ幸いです。

１０月行事予定

２(月)　委員会
４(水)　安全指導日
11(水)　Ｂ時程４時間授業
13(金)　上小スポーツフェスティバルリハーサル
　　～前日準備（1～5年4時間、6年5時間）
14(土)　上小スポーツフェスティバル
　　（給食あり 13時40分頃下校）
16(月)　上小スポーツフェスティバル予備日
　　５時間授業（２～６年）
18(水)　Ｂ時程４時間授業(3-1研究授業)
19(木)　たてわり班遊び（中休み）
20(金)　移動教室説明会
23(月)　クラブ　避難訓練　煙体験（5年）
24(火)　遠足（1年）
25(水)　就学時健康診断　Ｂ時程４時間授業
26(木)　校区別協議会(全学年５時間)
27(金)　イングリッシュキャラバン
30(月)　委員会（11月分）
31(火)　遠足予備日(1年)　全学年５時間授業
　　展覧会会場設営（5校時、5年、職員）

10月10日(火)～12日(木)
タブレットバッテリー交換期間

10月30日(月)～11月12日(日)
展覧会のため体育館使用禁止

避難拠点の災害備蓄食料の配布について

今年度避難拠点の災害備蓄食料の更新となりましたので、以下のとおり全児童へ配布いたします。各ご家庭でご活用ください。

配布期間：10月16日（月）～20日（金）まで　　配布食料：クラッカー（1食分）

音楽『音が音楽に変わる瞬間』

「音が音楽になる条件はなんだろう。」
この問いに子どもたちは悩みながらも、自分なりにその根拠を見付けようと考えをめぐらせます。

ここでの教材≪赤のフーガ≫（クレー作）は、J.S.バッハの音楽にインスピレーションを得て描いたという作品です。「この絵を、音で表現してみよう。」という課題に、子どもたちは、一本ずつランダムな音高のトーンチャイムを持ち、試行錯誤しながら音楽をつくっていきます。ポイントは、「どうやったらおもしろい部分ができるかな？」と一人ひとりが考えてみることです。速度や強弱、重なり、つなげ方などを駆使して工夫の秘訣を話し合い、グループで発表を行います。一人一音がつながって音楽になる様子は感動的ですし、子供たちの発想の豊かさに感心するばかりです。

子供たちと学ぶとき、私自身も柔軟でありたいと思います。そして、子供たちに楽しい音楽授業体験を届けたいです。

4.5.6年生担当　音楽専科

算数　子供達の姿から学ぶこと

おっちょこちょいな私は、黒板に式や答えを間違って書くことがあります。しかし、ほとんどの場合「先生、〇〇は違うんじゃないですか。」と礼儀正しく声をかけてくれる子がいるおかげで気付くことができます。「教えてくれてありがとう。みなさん、アドバイスをお願いします。」というと、さっきまでぼんやりした様子だった子供たちもしっかり黒板を見て考え、「先生、分かったよ。そのかけ算の答えは□□だよ。」などと張り切って教えてくれます。また、４年生が『小数のたし算、ひき算』の学習をしていたときのことです。いつもは集中して筆算の計算練習に取り組んでいる子供たちですが、蒸し暑さもあってかなかなか集中できない様子が見られました。そこでふと「じゃあ、答えが5.58になる問題を考えてみよう。」と投げかけると、急に鉛筆の動きが速くなり、自分の作った問題を発表したいと子供たちでの声で教室の中が活気付きました。

子供たちの姿から、学習への意欲を引き出す方法を日々学んでいます。

3.4.5.6年生担当　算数専科

１０月の生活目標　すすんで仕事をしよう

ご家庭でも学校でも、快適に楽しく生活するためにはたくさんの仕事があります。例えば、ご家庭では洗濯や食事の支度、買い物、掃除など、家族のためにある仕事を挙げたらきりがありません。その中で、子供たちが担当しているものもあるでしょう。上ばきを自分で洗っている子はたくさんいるでしょう。また、ごみ出しやお風呂掃除などをしている子もいることでしょう。学校生活の中にも仕事があります。例えば教室では、黒板係や配り係、体育係など、それぞれが頑張って学級のために仕事をしています。給食当番や掃除当番の仕事もあります。

各学級では、自分の任された仕事以外に、学級のために何かできることはないかと考えて、行動している姿も見られます。仕事をすすんですることで、誰かのために何かをしようという相手を思いやる心をもつことができるよう指導してまいります。